

2003年12月
2004年1月 合併号

Enfanter ● No.293

あんふぁんて

Enfanterとはフランス語で

①子を産む ②(計画などを)考え出す ③(作品などを)創り出す、の意

逐次刊行
'15.12.12
国立女性教育
女性教育情報センター

時・イラスト 福野

日は昇り日は沈む、また日は昇り日は沈む
春・夏・秋・冬季節は巡り、また春・夏・秋・冬季節は巡る
歩む 歩む 時を歩む、また歩む 歩む 時を歩む
幾年月も、幾年月も、時は流れる

後ろをふりかえると、そこには人生の道があった
太かたたり細かたたり、くねくねと道が続いている
後ろに歩みたくて、足を上げようとしても体は動かない

前に向きなおしてみると、道なんて何も見えない
何も見えないけれど、また歩む 歩む 時を歩む
ただ、温かな日の光と心地よい緑の風に吹かれて
何も見えないけれど、また歩む 歩む 時を歩む

何も見えない道は、道があるようでないようで、
見えないのでよく分からない
ただ、のどかで青い海原と穏やかな波の音に導かれ
何も見えないけれど、また歩む 歩む 時を歩む

後ろをふりかえると、そこには人生の道があった
太かたたり細かたたり、くねくねと道が続いている
前に向きなおして、見えない道を歩む 歩む 時を歩む

そして今日も、日は昇り日は沈む、また日は昇り日は沈む



特集

'04年 年金改正について

- パート主婦の厚生年金の加入は進むか??? p.2
- ・あんふぁんてからあんふぁんてへ p.8・自分にとっての<家族>を考える p.11
- ・『会計報告』 p.14
- ・ビデオコーナー&事務局から&情報コーナー p.15

女性のライフスタイルと年金の水準

(読売新聞ホームページより)

受給額の一例(万円)
夫の年金

① 非就労～結婚(出産)～非就労	6.6	10.3
② 非就労～結婚(出産)～非就労～離婚	6.6	16.9
③ 就労～結婚(出産)～就労継続	6.6	10.3
④ 就労～結婚(出産)～離職～再就職(フルタイム)	12.8	16.9
⑤ 就労～結婚(出産)～離職～再就職(厚生年金非適用のパートタイム)	6.6	10.3
⑥ 就労～結婚せず～就労継続	6.6	12.8

■ 厚生年金 ■ 基礎年金 □ 合計

※女性の年金額は、①② 40年間専業主婦
③④ 40年間平均的な賃金で働いた場合
⑤ 23年9か月間平均的な賃金で働いた場合
⑥ 6年5か月間平均的な賃金で働いた場合
※夫の年金額は、40年間平均的な賃金で働いた場合
(厚生労働省資料より、受給額(月額)は一定の条件で算出したもので、実際の金額は人によって異なる)

〔女性の多様なライフスタイル〕
派遣も含めてパートで働く短時間労働者の女性は、女性全労働者の約4割になっている。そのパートの女性のうち3分の1程度は厚生年金に加入し、保険料は自分で払っている。女性のライフスタイルと年金の水準を左の資

女性と年金とライフスタイル 女性の就業は変わったか!?

料にて、年金受給額の比較を示す。00年7月に袖井孝子氏(お茶の水女子大学教授)を座長に、「女性のライフスタイルの変化等に対応した年金の在り方に関する検討会」が01年12月まで開かれ、その報告に基づき社会保障年金部会は年金改正の検討をしている。女性のライフスタイルは多様化し、晩婚化、未婚女性の増加、離婚の増加、核家族化と高齢化、女性の老後の期間の長期化が見られる。また、全体に就労女性は増加し、結婚しても「職業を持つ」という意識はかなり増えている。

〔夫婦の年金分割〕

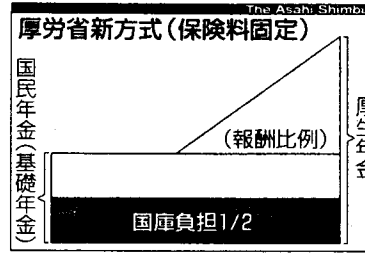
・長年婚姻生活を送っていた夫婦が離婚という状況に陥ったとき専業主婦である妻は、家庭での長年の働きに対する年金があるわけではないので、基礎年金を受給しても、夫がもらう年金の報酬比例の上乗せ部分は支給されない。基礎年金だけでは生活できないので、女性は離婚もできない状況にあるので、離婚時は夫婦の年金として夫の合意のもとに、夫婦折半で分割するという案も提案されようと、社会保障審議年金部会では審議されている。女性にとっては年金改正の大きな項目の一つである。

・案として成立し国会で審議され年金の改正に盛り込まれると、すごい良いことだと思ってしまう。三食昼寝付きプラス離婚時年金保障付きということになると、専業主婦はますます増え、共働きの妻はますます辛い立場に感じてしまう。女性はますます自分の人生は高給取りの夫頼みになってしまおうのではと、自立が遠のくような、保障されたようない。果たして「夫族」は年金を夫婦で分割してくれるか。分割の割合について検討を要求されるか。折半まで保障は必要か、夫が働いた年金でもあるが、難しい。

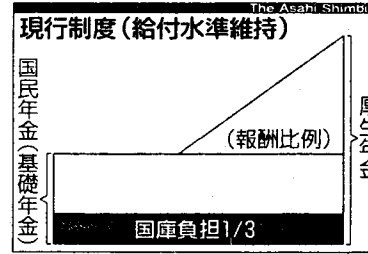
04年年金改正の争点

①安心して年金は受けられるのか?
年金の不信は今や若年層だけではなく、広い世代にも広がっている。個人年金もあまり頼りにならない。銀行や生命保険会社等金融関連の破綻があり不安だから。

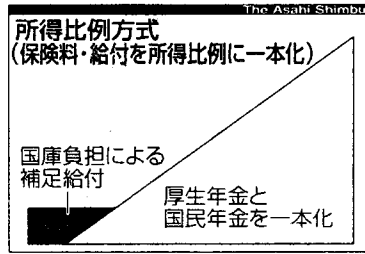
資料 現行制度と厚生省新方式、税方式、所得比例方式の比較 (朝日新聞9月11日付より)



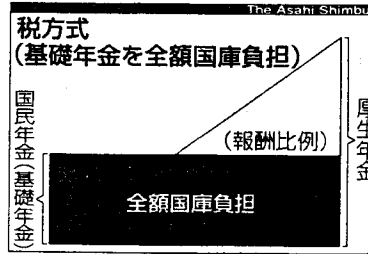
厚生年金の保険料(現行13.58%、労使折半)を段階的に引き上げ、20%に固定。年金給付は保険料収入の範囲に抑え、少子化・経済動向で自動調整。基礎年金の国庫負担割合は2分の1



5年に1度、人口や経済見通しの変化に応じ、年金給付と保険料負担を見直し。給付水準は厚生年金モデルが現役世代の手取り年収の59%になるよう維持。基礎年金の国庫負担割合は3分の1



職業によって分かれている厚生年金と国民年金を、所得比例の制度に一本化。負担に応じた給付とする狙いがある。基礎年金は廃止するが、低・無所得者には税金による補足給付を行う



すべての高齢者の基礎的な生活保障を行う役割を明確にするため、基礎年金の全額を税金で賄う。保険料負担がなくなり、国民年金で深刻な未納、未加入問題などを解消する狙いもある

②税の方式(徴収)と財源の確保
現行方式は73年当時の田中内閣が政策の目玉として年金の給付を大幅に引き上げ、年金水準を常に見直し給付額を上げていく方式にしたもの。その後、高度成長の終わり、バブルの崩壊、少子化が徐々に進み、年金財政の破綻は予測できたにもかかわらず、給付額の削減はようやく85年の改正で実現した。しかし、給付削減は小出しに繰り返され、本当の意味での解決策はなされなかった。

③年金財政危機の本当の理由は?
・上の資料は、厚生省の現行方式と新方式を並べているが、新方式は保険料を20%に固定して年金給付額を抑え、基礎年金部分に国庫負担を2分の1充てる。また税方式は全額国庫負担であるが、この場合の税(財源)は、どこから持ってくるのか、消費税などそれぞれるいっているが、どの方式が最良なのか分からない。一方、財務省は年金の給付額も下げ保険料も下げ、国庫金はなるべく抑えたい方針のようだ。

・年金財政の破綻は、年金を年金支払額の5年分に相当する巨額を積立て(200兆円の残あり?)、その積立ての一部を株式に資産運用し、利益を年金支払いに充てようとしたが、バブルの崩壊、不況、金融関連の倒産などで約374兆円近い赤字を作ってしまったこと。年金財政の破綻の本当の理由は、運用と経営が下手な役所(政府?)にあるのでは。そのツケが国民に回っているのでは? 現役世代に。
・消費税から財源を確保と耳にするのが今の5%の消費税が決まるときに、消費税はいずれは7%や10%に成るだろうと言われていた。年金の財源確保に消費税を引き上げ充てるとなれば深刻だ。消費の買い控えになり景気は落ち込むと思うので。
・保険料については、現役世代と年金受給者との賦課方式でなく、自身が保険料を納付し積み立てた実績を、年金の受給額としたらどうだろうか、という声も出ている。
・147、200兆円もの残高を使って財源の不足を補うとの意見もある。

る。しかし、一方で結婚や出産を機に職場を退職して専業主婦になった場合、育児一段落後の再就職では派遣やパートなどの短時間雇用を希望しており、なお増加している。

それぞれの意見



年金について

小諸市

私は2号歴五年、3号歴十年の専業主婦。余りに年金について無知だったので、今回の呼びかけを機に、年金の仕組みや第3号の問題などを扱った記事やホームページなど片っ端から読んでみました。色々な考えがあるものです。保険料支払いをなくしてその分を税でまかなう案、支払い免除の特例(子育て中、介護中)を設ける案、仕組みはそのまま保険料の出所を再考する案など。官公庁、政党、個人など本当に考え方は様々です。それを見ていたらますますどういう方法が良いのか分からなくなってきました。でも、ひとつだけ分かったことがあります。今改めて国民全員が年金というものに関心を持ち、勉強しななくはならないだろうということ。特に子ども達には学校で必須授業にでもしてもらいたいです。(自分の達の未来のことですもんね。)

進化する年金と安心した老後

杉並区

第3号被保険者制度は、サラリーマンの扶養されている専業主婦の妻を優遇している制度かと言えば、そうだと思う。しかし、第3号の制度が設けられた妻の老後保障問題など背景があるわけで、制度の見直しはあっても廃止はできないと思う。それは、現在もほとんどの女性は結婚すると家庭に入り専業主婦になってしまいう現状が旧態以前と変わらず続いているから。見直しの一つとして、夫の年収によって年金の保険料を徴収することである。徴収額は段階を設けてはと思う。今回提案として決まった、短時間労働者の週20時間以上の厚生年金加入適用は賛成である。事業主は厚生年金や社会保険の半分負担で、経費が嵩むことになるが、勤勉で小回りのきく女性の労働力は会社にとっても経済効果は有益だと思われ、女性を職場で有効利用し雇用を拡大してほしい。パート主婦の今後の働き方は、週20時間を超えて厚生年金に加入する人、加入しないので夫の扶養内に留まる人と二極化は進むと思うが、「仕事をすること」に女性にもさらなる積極性を望みたい。私の職場の営業部では、成績や人格が良いとか悪いとか関わらず管理職はいつも男性である。他の男性にも社長は何かしら係を与えて手当てを付ける。そして社長は「女性陣は稼いでくれる優秀な旦那さんがいるからね。男性は奥さんを養わなければならぬからね」と言う。言われている成績上位の女性陣は、別に生活に困っているわけではないし、笑ったりして大らかなものである。しかし、同

私の年金についての考え方の変化

松戸市

「働きたい女性を応援し」とサポートボランティアを募集します。という市の広報で五月から女性の仕事をめぐる状況についてグループワークを重点に置きながら学習を四ヶ月。主婦の再就職の厳しい現実を知った。十七年専業主婦をしていた私には、年金や税金の話など考えることもなくすごしていた。調べ学習の中で、厚生労働省は、04年の年金改革で予定しているパートなど短時間労働者への厚生年金の適用拡大基準を「週の労働時間が20時間以上」とする時間要件に絞る方針を固めた。「年収65万以上」とする収入要件は先送りとなった。(10月25日付け朝日新聞)

私も、「育児家事に支障のない範囲」で働いてきたが、子どもが中高生になり、「何か自分の能力を生かせる仕事があったら」と思い続けていた。自分の人生にあったキャリアプランを考えつかず、今現在探し求めている。日本社会では高齢化と少子化がセットになって進行しているため、年金の受給者と負担者の世代のバランスが崩れ、年金制度が危機に陥ると言われる。専業主婦(第三号被保険者)と働いている女性の間での不公平感もおきている。私は、自立していない自分いらだちつつ、税制や年金制度の主婦優遇策の恩恵を受けていることすら、知らなかった。一九六〇年代以降、高度経済成長に伴った主婦の保護制度が確立された。「女性は家事や子育てに専念し、男性が、元気に仕事に出

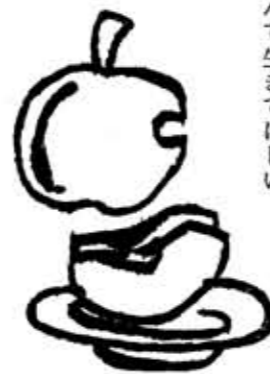
じ女性の同僚には陰で厳しく意見を言ったりしているの、けっしておおらかばかりではないと思う。皆とはみ出さないよう統率するまとめ役も古株の女性が男性を助けたりしている。その古株の女性が、男性であれば絶対部長職になっているであろう。この年金特集で気が付いたが、国民年金を納めて老後に受ける基礎年金は、給付額が月額で66万円から7万円では生活はできない。国民年金基金に加入して上乗せをしている人はどれくらい居るんだろうか。その保険料はいくらで、年金の給付額はいくらだろうかと、疑問に思った。第3号も国民年金加入なので、離婚してひとり生活に入ろうとしたときに基礎年金の給付額では生活できない。専業主婦が離婚時に夫の年金を所得分割で分けてもらえること必要なことかもしれない。ただ、夫は

海外の女性と年金に関する主な制度

	専業主婦への年金給付	パートの扱い	育児期間の対応
アメリカ	夫の年金(報酬比例)の5割	収入があれば雇用形態を問わず適用(年780ドル=約89000円以上の収入)	特になし
イギリス	夫の基礎年金の6割	週72ポンド(約13000円)未満の被用者は強制加入が免除	16歳未満の子供の育児期間については、基礎年金の額の算定にあたり、加入すべき年数から控除し、より短い拠出で満額給付を受けられる
ドイツ	特になし	月収630マルク(約39000円)未満かつ週の労働時間が15時間未満の場合は任意加入	子供1人につき出生後3年間は、全被保険者の平均賃金を得て保険料を納めているとみなす
フランス	特になし(老齢、障害年金のない妻を扶養している場合、夫の年金に給付金を加算)	通常の労働者と同様に適用(詳細は不明)	子が16歳になるまでの間に最低9年間育てた場合、子供1人につき2年間の加入期間を加算
スウェーデン	特になし(低所得や無所得者には保証年金を給付)	年間8952クローナ(約123000円)以上の所得があれば強制加入	子が4歳になるまでの育児期間で所得の喪失や減少があった場合、子の出生年の前年所得をもとに年金額を算定するなど、年金権が保障される配慮をする
日本	自分名義の基礎年金(国民共済で同額)を給付	正社員の3/4以上の労働時間の場合に厚生年金に加入。3/4未満で年収130万円以上の場合、国民年金に加入	被用者で育児休業制度加入利用者には、休業期間中(最長1年)の保険料を免除し、その分も給付に反映する

※円換算レートを含め、厚生労働省資料をもとに作成(読売新聞ホームページより)

何十年と汗し働いた自分の年金を離婚する妻にどのくらい分割してくれるだろうか。皆が安心して暮らせる老後について、年金の在り方や進める方法など、まだまだ議論してよりよいものにしていかねければならないと思う。次世代の子どもたちのためにも。年間金勉強会しませんか? 仲間募集ノ



※文中イラスト・西宮

あんふぁんてから
あんふぁんてへ



H.N

心のケアの必要性を感じます

練馬区

最近、心のケア”について、とても興味があります。興味というより、心のケアの必要性をとて感じています。
幼稚園ママとの交流の中でふと孤独を感じた時、なんとなくシクシクしている感じがした時、地域で参加しているグループの中でも私だけ浮いているかも？と落ち込んだ時、子どもを怒りすぎて深い傷を負わせたかも？と考えた時など、自分の心のケアをしたいなあと思います。
自分に必要なのは、安心して心の内側を話す人と時間と場所でしょうか？カウンセリングや心療内科も興味あるのですが、私が思い描いている”心のケア”は、グループ・ミーティングみたいなモノです。自分の気持ちを話し、人の気持ちを聞く、批判も意見も無しに言いたいばなし聞きっぱなしの場所という理解をしているのですが…

人生は短い？

尾花沢市

どんな占いで、またどの占いにみてもらっても、必ず「あなたは長生きする！」とハッキリキッパリ言われ続けてきました。小さい頃から未来の事、夢の実現等を考えるのが大好きで、未来に希望を持っていましたし、占ってもらった以前からなんとなく長生きできるような気持ちでした。
今もそんな気持ちではいるのですが、時々「あとのくらしい生きられるかな？二十年？三十年？四十年？」と数字をあげて考えると、思っていた以上に残りの人生が短く感じ、本当に不安になります。どちらかというと元気に笑っちゃうというタイプなので、自分がこんなふうにな不安になるとは思いもせず、自分で自分にびくりにしています。その上、年を重ねるたびに時間がビュンビュン先に走っていったら、これからの二十年三十年なんてあっという間なのだろうなと思えるので、余計不安になってしまふのかも知れません。小学校の六年間はあんなに長かったのに…、とても不安だけれど不安がってばかりいても仕方ないので、一日一日を自分らしく大切に積み重ねていこうとは思っています。自分勝手というのではなく「めいっばい自分」で人生の最後の日まで生きられたら最高だろうなあ…。この「めいっばい自分」の中には、「自分に無理させないようにすること、イライラせずに子育てを楽しむ、息子たちをたっぷり愛していきたい」という思いも入っています。こういう風に考えると、これからの残りの人生もわくわくしてきます。そのく

知的障害の長男を育てて感じたこと

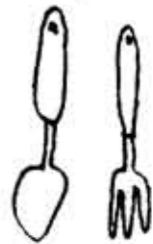
松戸市

長男は五歳の時に「中度の精神遅滞です」とニューヨーク・ライ市の教育委員会の会議で宣告された。私たち夫婦は、ため息しか出なかった。米国での生活も一年ほどたち、友人もでき、パーベキュー・パーティーや野外音楽会と映画のシーンのような楽しい日々を送っていた。目の前がバラ色から灰色になり、どうしていいかわからなかった。
親しくしていた子育ての先輩である四十代や五十代の近所の友人に相談した。いろいろな情報・アドバイスをくれたり、落ち込んで寝込んでいた私を散歩に誘ってくれた。夫婦で日本人のカウンセリングにも行った(二時間600ドル。保険がきいたが高かった)。「子どもは神様からのあずかりもの」という言葉に救いを感じた。
とにかく、米国の特殊教育を選べば、子どもの障害にそったプログラムを作り、無料で教育を受けられる。私たち夫婦は迷ったが、いざれ帰国することを考え、遠くで高い私立の日本人学校を選んだ。しかし、特別な教育の必要性を感じ、同じような問題のある五人の親と五人の障害教育の専門家、そしてライ市の行政の協力で、日本人の障害児のためのプレイグループ「アップルの会」ができた。週一回、グループワークと個別授業のせいたくなプログラムである。ニューヨークの慶応高校の美しい芝生のキャンパスで、金髪の青年がギターを弾き、子ども達が楽しそうに歌っている事が忘れられない。障害があっても一人の人間として認められ自然に生きられる

のがたまらなく嬉しかった。

米国では障害のある方は社会的に守られ、早期発見、早期療育が基本にある。専門家もたくさんいて、ネットワークができていて驚いた。
帰国して十年になろうとしている。私は障害に対する偏見と差別でボロボロになった。友人の二歳になる子どもの遅れについて相談を受け、市川市に「にじの会」の設立を手伝い、三年になる。
長崎市における少年が「広汎性発達障害或いはアスペルガー障害」という鑑定結果という報道に驚いた。幼児期になんらかの問題行動があったという。どうして、ケアシステムができないのかと思う。日本の現状では、診断や治療が可能な専門家が少ない。そして、その家族を支援するシステムもない。日本で私は、ずっと孤独だった。
「あなたの産んだ子なのだから、母親がちゃんと育てるべきよ。障害児って大変ね」と陰で言われ、小さくなって自分をせめた。病気になる夫婦仲も最悪になった。妹は、「なんであんなお兄ちゃんなの。はずかしい」。これが、少し前の私の家の現実だった。今は思春期の難しい荒れた長い嵐が過ぎ、小春日和家族も、戦いに疲れ、肩寄せ合って穏やかに過ごしている。
私は「障害」という言葉が好きではない。「特別な配慮や支援」が必要なのだと思う。長男は、今十六歳。「一人ぐらしして、農業をしたい」と夢を語る。丈夫な身体と素直な心の青年になった。「たかさんの方にお世話になったな」と、しみじみ感じる。

せまたフット「あとのくらしい生きられるのかな」と不安になり…。まさに悩める年頃なのでした。でもめげずに、できるだけ前向きに生きていこうっと！
みなさんは残りの人生について考えることがありますか？不安に思うことはありませんか？



図書コーナー

『女性の働き方ガイドブック
変わる社会・変わる女性』

大石友子著 一六〇〇円
財団法人経済産業調査会発行
松戸市 塙

「この本は、女性が働くことを決意したとき、自立を意識したときに少しでも役立つことを強く意識し、執筆した」と著者もはじめに書いている。
女性を取り巻く経済・社会状況の変化についての情報がわかりやすく書かれている。また、キャリアをどう考えいかにプランを立てるか、という方法論も学べる。
著者自身も「何も考えず、『自分の生活費は自分で稼ぐ』という基本的な考え方がなかった」といっている。いろいろな職業を経て女性がキャリアを築く上で何よりも必要なものは「自立する精神」だと気づいたという。私と同じだなと共感を感じ、一気に読んだ。

★30周年イベントを
成功させよう！

⑤

「相談会」を開き、どんなイベントにするか、あんふぁんての歩みをどのようにまとめるか話し合っている。前号で報告したように、
①ビデオと冊子を制作(考慮中)
②年表の制作(年表を冊子にまとめる。)
③30周年記念イベント
右記の三つを計画し、現在年表をまとめているところ。ビデオについては予算の問題で、公募で助成金を受けて何とかできたところとあっていますが、厳しいようです。どなたかビデオを持参して編集を手伝ってくれる人は居ませんか？心あたりがあり詳しいことを聞きたい人は事務局にお問い合わせください。ビデオでなく他のことでも何でも良いです。
③は、煮詰めるのはこれから。講師とパネラーで「あんふぁんて30年」をトークしたり、年表を展示したり楽しめるものにした。
あんふぁんての30年の歩みを、どのようなきかけで誕生したか、どのような人たちが入会してきたか、そしてどうなったのか、あんふぁんてはどう進んでいるのかなど、年表作りで考えていけたらと思います。あんふぁんて以外の女性たちはどのような暮らしをしてきたかなど外部の30年と比較しながら、外部のメディアも巻き込んで、このリアルタイムで「自分らしく」ってどうということなのか、これからのあんふぁんての歩みを見つづけられたいと思います。
(福野)

目黒区
さんが、自分の家族の事も知人のケースも交えて実に様々な家族がいることを話して下さり興味深かった。両親そろった核家族が全体の三割なのにあんふぁんてで会員の出席者がたまたま標準タイプが多く意外。

二時間では物足りずもって参加者の話す時間が取れればと思うが、保育利用で参加している人たちもいるのであまり長いと大変な事もあるだろう。二回目・三回目の講師の方が出席して事に驚く。あんふぁんて以外の参加者もいて嬉しかった。



第二回「事実婚／私の場合」
文京区

今回のテーマは「事実婚」について。松井さんが実際の経験を通して語ってくださった。松井さんは現在、パートナーとともに暮らす事実婚カップルの一人。十三年間の最初の結婚生活の後、二人の子どもと三人暮らしを始める。「離婚して、結婚が分かった」というネガポジのように浮き上がってきた」という「行き場がなくてとりあえず、結婚したようなもの。世間の圧力と親に妥協した。仕事が多かったため、親からの避難と、就職にち

かかった。この人と一緒にいたいという恋愛結婚ではなかった。相手からプロポーズされたのですが、女の価値があるうちに、という情けない結婚でした」とご自分を振り返る。結婚というものは、夫婦間にさまざまな拘束を与えることがある。フロアからはこんな意見があった。

「わたしは法律に振り回されたくない。結婚すると夫婦間の義務に縛られる」

「結婚制度は女はケア役割、男は稼ぎ手、という性別役割分業を伴うような気がする」

「個を重視した時代、というけれど、実際個をもって人を見つけてるのは難しい」

等々。

結婚はある面、互いを束縛しあう関係であり、またそれが社会的にも正当化される制度。人それぞれの個性や主張をある一定の型に収めてしまう。縛られたくなければ、制度の枠から自ら出ていかなければならない。それは、ときに非適格者というレッテルを貼られてしまうこともある。

最近、結婚という形をとらずに事実婚を選択するカップルは増えている。とくに若いカップルでは事実婚を選ぶ人が増えているが、これは結婚制度に縛られたくない人々のあたらしい生き方を反映しているのではないかと。「若者は、結婚に夢をもてなくなっているのではないか。インターネットやメールの普及、希薄な人間関係、当たり障りのない関係、という若者の付き合い方に、事実婚という人間関係のあり方がマッチしているのかもかもしれない」という参加者からの意見もあった。事実婚という形をとっている松井さんは、

パートナーとの関係を「いつでも別れられる関係」という。いいかえると、「互いに依存せずに、自立しながらも互いを重んじあう関係」であるともいえるのでは？事実婚は、結婚制度に得られないポジティブなイメージがある。

事実婚は「二人三脚ではなく、ともに歩く関係」だ、と松井さんは締めくくった。二人三脚はひもで結んであるから、歩く速度は違うのに肩をがっちり組んでいたら、いつかつかまってしまうのだという。松井さんのメッセージは、さまざまな男女に訴えかけるものであった。

第三回「参加者が考える自分にとっての家族」
豊島区

ワークショップは得意分野という講師「J」さんは、一回目・二回目と講座に参加し講座の流れや参加者をよく理解されて三回目の講座を担当くださいました。

会場を広くあけ、身体を動かしたりゲームを通して自分にとっての家族を考える形でした。参加者が動かしたいところを順番に動かしたり、インスピレーションゲームなどを通して身体と心がほぐれてきたところで、それぞれが自分の家族についてのイメージを手短かに語り、次にそれを絵に表現しました。

家族のイメージを絵に表現するというのは、とても無理ではないかと思っていきましたが、はじめに自分で語った家族を客観的に捕らえてみるとなんとかなるものでした。一人一人の



イメージが面白くて、ホント、色々な家族の形があるナーと感心しました。

最後は五人ずつのグループに分かれ、一つの家族の形を身体とセリフを使って表現するというワークでした。絵に描かれていたイメージの家族を参加者が身体と動きとセリフを使って表現するという物ですが、これもそれぞれの感じたイメージを一つに合わせる作業で、なかなか面白かったです。

とかく講座というと、講師の方のお話を聞くことが主になりますが、こんな風に五感を全て使って勉強する形は、楽しく、新しい発見に満ちていて、はじめ考えていたものよりずっと面白いものになりました。

参加者の一言メッセージ

- 身体を使って表現活動したら心も軽やかに動き出した、そんな楽しい二時間でした。我家の家族の形を再認識しました。
- 家族を客観的に考える良い機会でした。身体を動かしたりゲームをしたり楽しかったです。創造的に作っていくことは楽しいので好きです。
- パラエティに富んでいて面白かったです。もともと心が知れていなくてもできそうな気がしました。
- うちには、芽が出たばかりの家族。いろいろな形の家族がいる。人は一人より二人の方が、三人の方がやっぱりうれしいのだなあと思った。
- 実はこういうワークは久々だしもともと苦手な面もあるので引き気味に臨んだがとても楽しかった。それぞれもって知りたい。

- 家族のことって誰かに話しているようで、みんな分かっていてくれている様で、でも、意外と内にもりがち。話す事で自分が一番自分の事を知る事が出来ました。
- 童心に戻りました。この家族を大切にしながらくちや。
- シャべる事、聞くこと、動く事、みんなやってみると面白かった。
- 表現する事の面白さ、人の表現の仕方の違いに楽しめた。

講座に参加して

豊島区
今回入会して初めて講座に参加しましたので、内容よりも私自身の面通しと他の会員の方々にもお会いしたかったのが本音でした。私よりたぶん十歳くらい若いと思われるお母さんとのコミュニケーションをとる事が苦痛な今の私にとって、子育ての先輩方が多数参加された今回の講座は大変居心地の良い空間でした。今後このような癒される場に多く参加して親子ともども成長していけたらと思っております。

豊島区
家族について、これまでも出産や引越しの度にいろいろ考えさせられてきたし、自分の生活も家族を抜きには考えられない状態なので自分なりに分析してきたつもりだったけどこの三回の講座をおしてあらためて今の自分の気持ちや、家族の状態について気付くことが多くとても有意義な講習会でした。講師の方のご自身のお話に感動したり教えられる

豊島区
事実には驚いたり、最後は表現することまで学びましたが、もっともって深く掘り下げていきたいテーマだなあと感じました。

戸籍の問題では、政治的なことで個人の選択も左右されているように感じましたし、いろいろな制度が個人の自由や権利を阻んでいることも知りました。でも、生き方、家族のあり方は同じものは二つとない私だけの問題であることを意識し、これからは自分の家族、そして自分自身を大切にしなければと思いました。

三か月の長女を保育していただいて、安心して参加することができ感謝しています。日々の生活が子育てだけで過ぎていく世代の人こそ、こういうゆったりと物事を考えられる時間が必要なのはと実感しました。

荒川区
私は、二回目と三回目の講座に参加させていただき、色々な形の家族を知る事が出来ました。それは刺激だったり、ギモンに思ったりと色々でした。私のはじまったばかりの、「家族」。芽がいつか花咲く日が来るのか、ゆっくり見ていきたいです。



- ① 『シヨクラ』
ジュリエット・ピノシュ/ジョニー・デッ
プ/ラッセ・ハルストレム監督
- ② 『キヤッチ・ミー・イフ・ユー・キャン』
レオナルド・ディカプリオ/トム・ハンク
ス/ステイブ・スピルバーグ監督
- ③ 『オーシャンズ11』
ジョージ・クルーニー/ブラッド・ピット
/ステイブ・ソダーバーグ監督
- ④ 『エリン・ブロッコベッチ』
ジュリア・ロバーツ/アルバート・フィニ
ー/ステイブ・ソダーバーグ監督
- ⑤ 『ペンペン』
窪塚洋介/ARATA/サム・リー/松本
大洋原作/宮藤官九郎脚本/曾利文彦監督
- ⑥ 『ウオーター・ボーイズ』
妻夫木聡/玉木宏/平山綾/矢口史靖監督
- ⑦ 『バイレーツ・オブ・カリビアン』
ジョニー・デップ/オーランド・ブルーム
/ゴア・ヴァービンスキー監督

★越谷市

発★

子育て中はストレスも溜りがち。そんな時、子どもが寝た後にしばし現実逃避してスカッとできる映画を見るのはいかがですか？とにかくスカッとストレス解消したい時にオススメの映画。どれも見終わった後はすっきりハッピーな気分になる作品ばかりですよ！

ビデオコーナー

★府中市

発★

伊藤郁子原案/キングレコード発売
加藤奈々絵/櫻井孝宏/矢野直樹

大人も楽しめる新作のおとぎ話のアニメ。パレエ学校が舞台で、主人公は人間の姿になったアヒルの女の子。王子様の心を取り戻すために頑張りますが、心を全部取り戻したら自分は泡になって消えてしまう運命に...というと昔のおとぎ話のつぎはぎのようですが、古いおとぎ話の形をとつつも、新しく不思議な世界が広がります。ナレーションは岸田今日子。クラシックの名曲をバックに展開する物語と一緒に登場人物たちも成長しているように思え、暴力的なアニメやお色気過多のアニメが多い中、とても清々しい後味です。CSとテレビ神奈川・テレビ埼玉でしか放映されなかったためあまり知られていませんが、ビデオなら誰でも観られて嬉しいですよ。

情報コーナー

★30周年イベント相談会
日時・12月21日(日)午後1時から
場所・さん宅

あんふぁんての活動を振り返って年表作りをしています。社会の出来事と会報の中身を見比べ、さらにその頃の自分の生活を重ね合わせてみると、女性や子どもをめぐる世の中の動きとあんふぁんての活動の変遷が改めてわかり、とても興味深い作業になっています。新しい会員もぜひ参加してください。参加申し込みは事前に事務局へ。

★忘年会(右の相談会の後に行います)
日時・12月21日(日)午後6時から
場所・

たまには子ども抜きでゆったり楽しみたいよう。食べ物・飲み物持ち寄り歓迎。参加費は実費を頭割り。申し込みは事前に事務局へ。

事務局から

●先月号に引き続き、全会員にあんふぁんてPR用チラシを同封しています。友人・知人や出会った子育て中の人などに手渡すか、女性会館などに持って行って掲示板に貼るなどしてください。地域での活動の足がかりにという場合は、チラシ下部の「近い地域の会員連絡先」に自分の連絡先を入れてください。会報も欲しい場合は必要部数連絡ください。●11月末現在の会員数は267名です。

“縮小化”という今期方針が出てきた
問題の『会計報告』です
～2002年10月～2003年9月～

【今期についての説明】

①の参加費がなんとと言っても土台となるわけですが、年額6000円で割ってみると261名分。すでに19万円の赤字を出している昨年度の段階で、9月末308名となっている、お産本でこれからの入会を期待していたとはいえ、予算としたら350名は楽観的すぎたと反省。本当は昨年度にも縮小化案を提出すべきだったのだと痛感しています。

(入の部)	(今年度の金額(円))	(予算金額(会員350名))
①参加費	1,567,000	2,100,000
②雑収入	398,443	216,000
③企画収入	11,000	60,000
合計	1,976,443	2,376,000
(出の部)		
④会報印刷費	447,305	420,000
⑤会報郵送費	235,325	336,000
⑥保険料	120,000	120,000
⑦事務人件費	880,000	960,000
⑧事務局家賃	120,000	120,000
⑨事務通信費	124,505	120,000
⑩事務局印刷費	9,115	12,000
⑪事務用品費	21,813	12,000
⑫資料費	24,000	12,000
⑬交通費	120,000	180,000
⑭企画経費	21,880	24,000
⑮スタッフ費	41,280	60,000
合計	2,165,223	2,376,000
総収支	▼188,780	

(A) 2001年度より	619,874
Ⅰ・現金	30,833
Ⅱ・郵便口座	189,041
Ⅲ・定期貯金	400,000
(B) 2002年度総収支	▼188,780
(C) 2003年度～	431,094
Ⅳ・現金	2,063
Ⅴ・郵便口座	29,031
Ⅵ・定期貯金	400,000



(入の部)	月額	年額
(ア) 参加費	125,000	1,500,000
(イ) 雑収入	18,000	216,000
(ウ) 企画収入	5,000	60,000
合計	148,000	1,776,000
(出の部)		
(エ) 会報印刷費	25,000	300,000
(オ) 会報郵送費	15,000	180,000
(カ) 保険料	10,000	120,000
(キ) 事務人件費	60,000	720,000
(ク) 事務局家賃	10,000	120,000
(ケ) 事務通信費	5,000	60,000
(コ) 事務局印刷費	1,000	12,000
(サ) 事務用品費	1,000	12,000
(シ) 資料費	1,000	12,000
(ス) 事務交通費	13,000	156,000
(セ) 企画経費	2,000	24,000
(ソ) スタッフ費	5,000	60,000
合計	148,000	1,776,000

【これから】
予算は会員数250名で組んでいますから、何がなんでも250名は確保しておきたいところです。その上で、会報を隔月発行にして印刷費・郵送費の節約と、事務局の省力化での人件費・交通費の節約を考えた縮小化案です。
そこで、ひとりひとりが今できることを考えてほしい！例えば本を売ること、買うこと。チラシを置いたり、渡したりして会員を増やすこと。『トライアル』や講座、イベントに参加すること。会報づくりや発送手伝いをすること。ホームページづくりや情報集め。原稿や手紙・イラストや詩を書くこと。新企画を考えたり、カンパをすること。
つまり、あんふぁんての行く末はあなたしだいなのです。(古知)

★12月と1月の「子育て広場トライアル」
 ◎12月17日(水) 10時～2時池袋駅隣接のエポック10保育室・会議室にて
 Aコース・子どもと一緒に遊ぶ「いろいろな子と接し子どもとの関わり方を体験する」
 Bコース・子どもと離れてしゃべりB A(場)
 「今回のテーマはあんふぁんての30年から知る女と子どもの現実と、私自身の今」
 Cコース・子どもを預けてタウンワーク
 「子どもと離れてリフレッシュ・タイム」
 ◎1月28日(水) 10時～2時エポック10
 「Bコーステーマ子育てのストレス」
 「Cコース・午前中保育室が使えないため、午後1時から」両日とも、子連れのひとは15分前集合、3時までワーク報告と引継ぎ
 ・参加費500円(資料代+保険料)
 ・保育定員7名、子ども一人200円(保育カード、保険証、昼食・着替えが必要)
 ・初回はAコースから。Bコースは大人のみ参加も歓迎。参加希望者は、各回10日前までに事務局に申し込みを。

スケジュールメモ

12月17日(水) 子育て広場トライアル 10時～2時(エポック10)
 12月21日(日) 30周年イベント相談会 &忘年会(神楽坂の幾代宅)
 12月24日(水) 1月7日(火)事務局休み
 この間の事故等の連絡は封書でお願いします。
 1月28日(水) 子育て広場トライアル 10時～2時(エポック10)
 2月9日(月) 2・3月合併号発送(事務局)

会員みんなで一言リレーしませんか?

小諸市

これまで特集を担当させて頂いたことのある金子です。前号の交流会報告を読んで色々考えました。
 私自身特集を担当した時を思い返すと、自分の思いに多くの皆さんが声を寄せて下さることが何より嬉しいですが、それにも増して、一緒に特集を作ったメンバーとの出会いが宝物だと感じています。
 そんな思いからひとつ提案なのですが、会員全員で一言リレーをしていくというのはいかがでしょうか?日々のこと、関心のあること、今までの会報で印象に残っていることなど何でも良いので一人一人が声を上げれば、そこから新しい出会いが広がっていくと思うのですが...
 長さは自由。できれば年内にFAXか郵送で事務局の「一言コーナー」係まで原稿を送ってください。毎号何人かずつリレー紹介していきましょう。今月号に投稿用紙、同封しています。

●あんふぁんては、会費のみで運営している会。会費の支払いのまだの人は至急振込みをお願いします。会費が切れても本人から連絡がないと、退会や休会の措置がとれません。退会・休会や転居等の時は、必ず事務局まで連絡ください。

あんふぁんてホームページアドレス <http://>

事務局までの地図

☆当会について詳細を知りたい場合、封書に〒・住所・氏名・☎を明記し、切手四百円分(なるべく少額切手)を送って下さい。入会希望の場合はなるべく会費六ヶ月分(三千円)以上まとめて、郵便局の振替口座に払い込んで下さい。

第293号(隔月5日発行)
 2003年12月5日発行
 (1975年7月26日初刊発行)

あんふぁんて 12・1月合併号

発行人 /
 発行所 / あんふぁんて出版部

電話
 (☎平日12時～2時それ以外FAX)
 定価 / 500円
 振替口座 /
 加入者名 / あんふぁんての会

©本誌掲載記事の無断転載を禁じます。